

宗次ホール10周年おめでとうございます。

お客様一人ひとりの表情が見えるほど、息遣いが聞こえるほどの親密な音楽空間、それが宗次ホールです。限られた座席には、音楽会を心から楽しみに通ってくださるお客様ばかり。演奏家として、そういう聴衆の皆様と共に音楽を共有できることは何よりも喜びです。

「音の旅」12年24回のシリーズをこのホールでさせていただくことになったきっかけは、宗次ホールのオープニングコンサートに出演させていただいた時でした。一人のお客様が「12年の“音の旅”シリーズを是非ここ宗次ホールで聴きたい!」と言ってくださり、それが実現したのです。本当に嬉しい出来事でした。それから毎年2回、春と秋には必ず訪れていますが、温かく出迎えてくださる宗次さんと、スタッフの皆様の明るい笑顔にお会いする度に、「宗次ホールに帰ってきた」という思いを抱いています。宗次ホールは日本で最も自主公演の多いホールだとお聞きしております。これからたくさんの素敵なコンサートと共に、ますます輝くホールになっていくことでしょう。

今日のコンサートは宗次ホールの10周年を意識してプログラミングしました。これからの素敵なホールの歩みを思い浮かべ、希望に満ちた作品が多く並んでいます。10周年への祝福の気持ちを込め、心から演奏させていただきたいと思っております。

小山 実稚恵



©ND CHOW

小山 実稚恵 (ピアノ) Michie Koyama, pianist

人気・実力ともに日本を代表するピアニスト。チャイコフスキー国際コンクール、ショパン国際ピアノコンクールの二大コンクールに入賞以来、今日に至るまで、コンチェルト、リサイタル、室内楽と、常に第一線で活躍し続けている。

Bunkamura オーチャードホールをはじめ、全国6都市(東京、大阪、札幌、仙台、名古屋、福岡)にて行われている春・秋年2回、2006年～2017年の壮大なプロジェクト“12年間・24回リサイタル・シリーズ”が、本年いよいよ12年目を迎える。

これまでに国内の主要オーケストラはもとより、モスクワ放送響(現・チャイコフスキー・シンフォニー・オーケストラ)、ベルリン響、ロイヤル・フィル、BBC響、イギリス室内管、アカデミー室内管、ロッテルダム・フィル、シンフォニア・ヴァルソヴィア、ワルシャワ・フィル、モントリオール響、ポルティモア響などと共演しており、フェドセーエフ、テミルカーノフ、デュトワ、マリナー、小澤征爾といった国際的指揮者との共演も数多い。

また、ショパン生誕200年にあたる2010年のショパン国際ピアノコンクールを始め、チャイコフスキー、ロン＝ティボー、ミュンヘンなどのコンクールでは審査員を務める。2011年の東日本大震災以降、被災地の学校や公共施設等で演奏を行っており、2015年より被災地活動の一環として自ら企画立案し、ゼネラル・プロデューサーを務めるプロジェクト『こどもの夢ひろば“ボレロ”』が、仙台においてスタートした。

CDは、ソニー・ミュージックジャパンインターナショナルと専属契約を結ぶ。26枚目の『ヴォカリーズ』から『シャコンヌ』、『シューベルト:即興曲集』と3作連続で「レコード芸術」の特選盤に選ばれる。2017年5月には、30枚目の『パヴァー:ゴルトベルク変奏曲』のリリースを予定している。

これまで、2005年度文化庁芸術祭音楽部門大賞、2013年度 東燃ゼネラル音楽賞 洋楽部門本賞ならびにレコード・アカデミー賞(器楽曲部門『シャコンヌ』)、2015年 NHK交響楽団「有馬賞」、2015年度文化庁芸術祭音楽部門優秀賞ならびに第28回 ミュージック・ペンクラブ音楽賞、2016年度芸術選奨文部科学大臣賞を受賞している。

東京藝術大学、同大学院修了。吉田見知子、田村宏両氏に師事。

くらしの中にクラシック



名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsuguhall.com
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター

営業時間:10:00~18:00
年中無休(年末年始、施設メンテナンス日を除く)

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

宗次フレンズ 会員募集

会員登録していただいたフレンズ会員様は
一般発売より先行してチケットをご購入頂けます

会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール(052-265-1715)までお問合せ下さい。

